

ふくしま

法人会ニュース

2010

9

めざします 企業の繁栄と社会への貢献

ふくしま街歩き今昔



「伊達駅」(伊達市細谷)

Contents

- 福島税務署長・副署長あいさつ…… 2
- 税だより…… 3
- へーなるほど…… 3
- 税理士会コーナー…… 4
- ちょっといっぶく…… 4
- 観光立国へ「おもてなし」で交流を…… 5
- ホームページリニューアルのお知らせ…… 6
- カメラリポート…… 7
- 会員さんこんにちは(三品清重さん)…… 8



(法人ニュースふくしま 2002年9月号より)

ごあいさつ



福島税務署長

佐藤 満行

昨年に引き続きまして、よろしく
願います。

社団法人福島法人会におかれま
しては、日ごろから税務行政全般にわ
たり、格別のご理解と多大なご協力
を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成二十一年七月以降、皆様とお
付き合いをさせていただきました
が、公益事業である租税教育活動で
は、青年部会・女性部会を中心とし
た児童・生徒に対する租税教室の開
催、「税の絵はがきコンクール」募
集と展示会の開催、申告納税制度発
展のための「e-taxやつてみよう」
プロジェクトへ参画していただき従
業員に対して研修会を開催する等各
方面で税務行政へ支援をいただきあ
りがとうございます。行政は皆様方
のような納税者の理解と協力なくし
ては円滑な遂行ができません。引き
続き法人会の皆様のご理解とご協力
をよろしく願います。

着任のごあいさつ



福島税務署 副署長

上田 泰伸

七月の定期人事異動で福島税務署
副署長を拝命しました、上田でござ
います。

東北の税務署勤務は初めてであり
ますが、出身が山形県ということも
あり、福島での勤務を楽しみに転勤
してまいりました。

社団法人福島法人会の皆様には、
日ごろから税務行政全般にわたり格
別のご理解と多大なご協力を賜り厚
くお礼申し上げます。

また、「税務行政の円滑な運営に
寄与する」との基本姿勢のもと、活
発な事業活動を展開され、各種説明
会・研修会等の開催をはじめ、法人
会ホームページ等により税務関係等
の情報提供を行っていただき、更に
は青年部会及び今年節目を迎えた女
性部会におかれましても地域社会に
貢献する会活動の一層の向上にご尽
力いただいておりますこと、心から
敬意を表する次第です。

我々といたしましても引き続き会
員の皆様と相互理解のもと、会活動
へできる限りご協力を申し上げ、円
滑な税務行政に努めて参る所存であ
りますので、更なるご支援、ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、社団法人福
島法人会と会員企業の益々のご繁栄
を祈念しまして、ご挨拶とさせてい
たきます。

職歴

- 平成17年7月 東京国税局課税第二部
資料調査第一課総括主査
- 平成19年7月 東京国税局課税第二部
資料調査第一課課長補佐
- 平成20年7月 東京国税局千葉東署
特別国税調査官
- 平成22年7月 現職

税だより

国税

税の歴史クイズ

歴史に見る社会と税の関わりについて、クイズ形式でご紹介します。

「**律令国家の免税(斐陀(ひだ)国)**」
律令国家の基本法である令のうち、調・庸・歳役(さいえき)などの基本税目についての規定を扱うものは賦役令(ぶやくりょう)でした。その条文に、「斐陀国(飛驒国)は調と庸を免除するという規定があります。なぜ免除されていたのでしょうか？」
答えと解説については、国税庁ホームページを「<http://www.nta.go.jp/ntc/sozei/quiz/1008/index.htm>」

地方税

法人事業税の税率引下げ・ 地方法人特別税について

平成二十年度税制改正により、地域の税率格差を是正するための暫定措置として、平成二十年十月一日

以後に開始する事業年度から法人事業税(所得割・収入割)の税率が引き下げられ、新たに法人事業税額(所得割額・収入割額)を課税標準とする地方法人特別税(国税)が創設されています。

地方法人特別税は国税ですが、申告納付は法人事業税と合わせ、各都道府県に行うこととなっています。

この改正による各法人の法人事業税と地方法人特別税とを合わせた税負担に変更はありません。

なお、地方法人特別税は、国が人口と従業者数に応じ、地方法人特別譲与税として各都道府県に譲与します。

詳しくは、お近くの県地方振興局県税部へお問い合わせいただくか、県のホームページ「くらしと県税」(<http://www.pref.fukushima.jp/zeimu>)をご覧ください。

(県庁税務課)



村井幸三さんの ヘーなるほど



愛煙家の皆さん、この際タバコをやめますか、お国のために吸いつづけますか。いよいよ来月からタバコが値上げしますよ。

昔から「困った時のタバコ税」といわれるように、戦前は相ついで戦争の戦費に、戦後は国鉄債務の肩代わり、企業減税のアン埋め、児童手当の財源など、その時々苦しい台所事情から値上げされてきたのですが、今回は本音はともかく「喫煙者を減らして国民

の健康を守る」という、まともに真正面から反対出来ない大義名分を掲げての値上げですから、いつもは反対の大声をあげる葉タバコ生産者団体もナリを潜めてしまい、たいした反対もなく政治用語でいえば粛々とした中での値上げとなった訳です。

では一体どのくらいの税金になるのでしょうか、現在タバコ一本にかかっている税金は九円、一箱百八十円ほどですが、総額でいえば二兆三千億円

「平成二十年」で貴重な収入です。今回の値上げでどれほどの増収になるのか、政府も喫煙人口の変化をつかみかね、はつきりはいついていませんが、現在の販売量が変わらなければ、一円の引上げごとに五百億円の増収になるそうです。

ついながら我が国にタバコが伝来したのは戦国時代、ポルトガル人の船員が持ち込んだといわれていますが、たちまち全国に広まり、江戸時代には知人の家を訪ねると茶よりも先にタバコ盆がだされるほど好まれました。まさに魔法の嗜好品ですね。

政府の専売事業になったのは明治三十七年、この時作られたのが数島大和、朝日、山桜の四種の紙巻きタバコです。このうち朝日は昭和はじめまで生産されていましたから、ご記憶の方もいらつしやるでしょう。発売当時の定価は一箱二十本入りで六銭、その頃の労働賃金は五十銭が目安でしたから、現在の感覚でいうと千五百円程になり、なかなかのお値段だったようです。

ちなみに国民の喫煙率は年々わずかに下ってきてはいますが、まだ六十パーセントという高率、こんどの値上げで果たして減るものでしょうか、興味をそられるところです。

『租特透明化法』という聞きなれない法律ができましたが、税務申告にはどのような影響があるのでしょうか？

租税特別措置の抜本的な見直しを進めるに当たり問題となっていたのが、租税特別措置の中に、その適用実績の把握や効果の検証が十分なされていないものが少なからずあったことです。

租税特別措置は、特定の者に税負担の軽減という経済的な利益を与え果たすものであり、外国では「租税歳出」とも呼ばれています。こうした租税特別措置がどのように利用され、どのような効果を生じているかは、補助金と併せて、透明でなければなりません。このため、租税特別措置の適用実態を明らかにし、その効果を検証できる仕組みとして、今年の通常国会において「租特透明化法」が成立しました。租特透明化法では、法人税関係の租税特別措置について提出を求める「適用額明細書」を集計する方法により租税特別措置の適用実態調査を行い、その結果を国会へ報告することなどを定めています。

平成22年度税制改正

1 適用額明細書の提出義務

平成23年4月1日以後に終了する事業年度の法人税の申告から法人税関係特別措置（増収効果のあるもの等を除く。）の適用を受けようとするものは、適用額明細書の当該法人税申告書への添付が必要となります。

なお、適用額明細書の提出及び適正な記載を担保するため、その不提出や虚偽記載については、やむを得ない事情がある場合を除き、法人税関係特別措置が適用されないこととなります。

2 適用額明細書とは

法人税申告書を提出する法人が、その法人税申告書において適用を受ける各法人税関係特別措置の内容、適用額（税額控除額、特別償却限度額、準備金や積立金の額）等必要な事項を記載した一覧表をいいます。

東北税理士会福島支部 杉原吉一



広報委員

(株)クサカ印刷所 日下直哉

「子供たちの将来について」

私には、一歳八ヶ月になる子供が居ます。仕事が終わり帰宅すると、いつもドアの音を聞きつけて嬉しそうに玄関まで迎えに来てくれます。私自身も仕事の緊張が解け、心穏やかな瞬間の一つです。

まだ片言も喋れないわが子を見てみると、見てないようで見ている観察能力と学習能力の高さに日々驚かされ、子供の吸収する能力の凄さを感じています。まさに「子供は親の鏡である」という責任の重さも感じるようになりました。毎日、子供は親の行動や話し方を真似て成長するんだらうと思います。

我々大人は、デフレ経済が続く国の将来に対して不安に思っている人が多いのではないのでしょうか。

そんな社会で、若者に対する「学校への不登校・引きこもり・ニート」等の社会問題が挙げられます。この

問題の原因は、全て親である私たち大人の責任ではなからうかと強く感じるようになりました。

「学校へ行きたくない」「社会に出たくない」と子供が思うということは、親である大人たちが会社へ、また仕事に対して嫌々感じて楽しめていない姿を子供が見ているのではないのでしょうか。

確かに、厳しい経営環境の中で、辛いことも落ち込むこともあるかと思えます。しかしながら子供たちの明るい将来のために、我々大人が出来ることは、子供の前で元気に振舞い「仕事はこんなに楽しいんだよ」と話をして、楽しんでいる姿を見せることが一番だと思います。

まずは、私わが子に対し元気に声を掛け「大人になるって楽しいんだよ」と話して行こうと思っています。我々大人が何歳になっても夢と希望を持ち続けることが出来れば、子供たちもその姿を見て、将来に対して夢と希望を持つことが出来るでしょう。

子供たちのために、夢と希望が持てる社会の実現を願わずにはいられません。



観光立国へ「おもてなし」で交流に磨きを

経済ジャーナリスト

柏木慶永

観光産業、地域の活性化にプラスか、中国人向けビザ要件緩和

5月下旬、北東北を旅した。旅行会社のツアーで奥入瀬渓谷、十和田湖、八幡平、田沢湖、中尊寺、松島などを巡った。桜が満開だったり、雪の壁が続いたり春先のような光景に目を奪われた。40人ほどのバス仲間は九州、関西、関東、北海道と日本各地から集まっていた。大半は中高年だが、皆新たな発見をしたようだ。日本には知らないところが沢山あり、そこを訪ねることで、日本の素晴らしさを改めて肌で感じる事が出来る。

そんな中で多くの外国人観光客が日本を訪れることは、日本人にとって世界の空気、風に触れるチャンスでもある。政府が7月1日から中国人観光客の個人向けビザの発給要件を緩和したことは、交流の深まりへの大きな一歩となる。観光ビザは、それまでの富裕層限定から中間層（日本円で年収80万

円程度）まで対象を拡大した。対象者は160万世帯から1600万世帯へと10倍にもなる。中国は高度経済成長が長く続いて個人所得が年々増加しており、海外旅行への関心が高まっているという。その勢いを日本に向けてくれたらいいわけで、日本の観光産業や地域の経済活性化にとって、大きなプラスになると期待したい。ただ一方で、犯罪や不法滞在に目を光らせるのは当然だ。

中国の富裕層は日本を訪れて家電製品、化粧品などを大量に購入しており、中には50万円もの買い物をする客もいるという。中国人観光客が増えれば経済効果はさらに大きくなる。中国人が日本観光で魅力を感じるのとは何かとの別な調査で、富士山など観光資源とは別「おもてなし」がトップだそう。やはり日本人の丁寧で、きめ細かな心配りが受けるようだ。もちろん食の安全に対する安心感もあるだろう。

菅政権は6つの新成長戦略分野の

一つに観光を位置づけた。外国人観光客を2013年に1500万人、16年までに2000万人、19年には2500万人、将来的には3000万人とするロードマップも作った。今回の中国人ビザ発給要件緩和はその具体策の一つで、今後さらに対象を拡大すると見られる。

求められる自治体と地元ネットワーク作り

国内の観光産業の活性化は、雇用増、地域づくりにつながり、内需拡大に貢献する内なる国際競争力を高める力がある。外国人観光客が増えれば、日本の歴史・文化、四季折々の美しい自然や景観など日本の良さを発見してもらえる。政府の観光政策とともに、自治体も誘致のために地元と連携したネットワーク作りを積極化してもらいたい。

東北道の観光を盛り上げようと阿寒湖でリゾート施設を経営し、北海道観光振興機構副理事長を務める大西雅之氏は、「郷土力を生かして地元との共生を目指す宿づくり、まちづくり」に取り組んでいる。北海道の観光客が激減していることへの危機感が背景にある。要因はいくつかあるが、大西氏によると、1999年の航空法改正で航空産業の規制緩和が進み、競争が激化したため、主要航空会社が機材小型

化や減便で運賃値上げをしたことが最も大きいとする。北海道には8空港あるものの、千歳以外はガラんとした状態という。

阿寒湖周辺の観光客は100万人超だったが、今年3月には62万人に減少、知床でさえもこの数年で34%も減っている。大西氏は「北海道エリア別観光ビジョン」を作って誘致作戦を始めるが、「国際観光の推進は狭義の観光産業の枠内でなく、オール北海道が手を組んで成長産業として育成に取り組みべき」と、北海道庁の観光予算増額など政策強化を訴える。

観光資源は経済的効果を高める。北海道や秋田県では韓国や中国映画のロケ地として脚光を浴び、現に両国の観光客が大勢訪れている。ロケ地誘致も観光の目玉になる。もちろん外国人だけでなく、日本人が自分の国を再発見するために国内旅行を楽しむことも大いに推進することだ。内外問わず日本人の心である「おもてなし」を基本とした受け入れ体制の充実は言うまでもない。観光産業の発展は日本力を回復する重要なカギといえる。政府は新たな成長産業とするために規制改革を進めながら、日本人の観光への意識を高める施策を積極的に展開することが必要だ。掛け声だけの名ばかり観光立国では成長できない。

ホームページリニューアルのお知らせ

福島法人会のホームページを全面リニューアル！
それに伴いアドレスが変更になりました

新アドレス

<http://f-hojin.or.jp>

会報「ふくしま法人会ニュース」のバックナンバーや「会員企業紹介」などの新コンテンツを追加しました。

今後、より一層内容の充実に努めてまいりますので、ご意見、ご要望等お気軽にお寄せください。

「会員企業紹介」への掲載企業登録募集中！

皆様の会社の紹介やホームページアドレスなどの情報を掲載致します。
会社のPRや情報収集等、皆様のお役に立てるようより多くの登録を目指しておりますので、是非ご登録下さい。登録は、ホームページ上部メニューの「会員企業紹介」をクリックし必要事項ご記入の上「送信」ボタンをクリックすると完了です。10月より公開予定です。

お問い合わせ

福島法人会事務局（電話 536-1291）

「会員さんこんにちは！」出演者募集

福島法人会では、ふくしま法人会ニュース「会員さんこんにちは」コーナーの取材にご協力いただける社長さんを募集しております。屋山弘さんと事務局で会社にお伺いし、一時間程度会社の概要や趣味などについてお聞きします。内容については屋山弘さんがまとめます。自薦・他薦は問いませんので、この機会に是非ご応募下さい。



●●● 新入会員紹介 ●●●

入会ありがとうございます。

新入会員（3月下旬～7月入会）の皆さんをご紹介します。

(有)川俣シャモファーム	(伊達郡川俣町・養鶏業)
豊富産業(有)	(福島市鎌田・産業廃棄物収集運搬処分業)
(株)春光園	(福島市鳥谷野・園芸、総合工事業)
(有)高上商店	(伊達市月舘町・漬物製造業)
(株)ガイドポスト福島営業所	(福島市太平寺・求人広告、販売促進広告の発行、PC携帯サイトの運営)
尊建匠(株)	(伊達市梨子木町・建設業)
(株)クリアライン	(福島市南沢又・屋根板金業)
小幡合同会社	(伊達郡桑折町・製造業)
一般財団法人障がい者福祉支援研究所	(伊達市保原町・障がい者福祉事業)

今後ともよろしく申し上げます。

カメラリポート Camera Report



- ▲ 22・7・21
青年部会第3回役員会
 - ・第1回例会について
 - ・県会員研修会「福島大会」について
 - ・租税教室について

- ▼ 22・7・23
青年部会「第1回例会」および「親睦ボウリング大会」



【ボウリング大会】

- 優勝 丹治 俊明 (有丸公青果)
- 準優勝 伏見 祥子 (ふあぶーる)
- 第3位 大橋 嘉彦 (大橋株)

”新入会員によるスピーチ“



- 【第1回例会】
 - ・今年度の活動について
 - ・新入会員紹介

- ▼ 22・7・29
優良申告法人部会第14回定時総会
 - ・平成21年度事業経過報告並びに収支決算承認の件について
 - ・平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
 - ・任期満了に伴う役員改選について



- ▲ 22・7・21
セミナー「お金をかけずに・ものも売らずに儲ける仕組み」
講師 谷田貝 孝一氏 (有)ジュントオル代表取締役

- ▼ 22・8・18
女性部会設立20周年記念式典
〈記念講演〉
演題「こころのものさし～より良い人間関係のために～」
講師 大谷 徹煇師 (奈良・薬師寺執事)



〈記念式典〉

”あいさつをする鎌田部会長“

会員の心は

えと文・やまひろし



株式会社 アグリテクノ
代表取締役社長
三品 清重氏
(伊達市坂ノ下14-3)
TEL (024) 597-6602

普通の人はお会いしただけでビッてしまうという、あの三枝利光氏。そのお嬢様と結婚していると聞いて、それだけでこの人は凄い人物だと思った。その上「家庭を犠牲にしても好きなことをやっているんです」と、最初からとんでもないことを言う。若い頃から、ど偉い老人たちと付き合い、遊びに徹し人脈を広げ人間を大きくしてきた、と思える。ピクターの顧問をしていた音響評論家と知り合い、オーディオにのめり込む。それに日本文化に興味を持ち、骨董品や日本芸能に、明治生まれの人々の遊び、職人の技にも心を奪われる。その上バイク、サーキットも体験、剣道は三段、ギターにもこったりして、若いときからいろんなものに首を突っ込んだ。

社長は昭和二十四年、梁川町生まれ。明治大学に入ったが全学連の紛争で勉強どころではなく、妙心寺派の岐阜のお寺に預けられた。その僧侶は偉大な人物で普段ニコニコしているが、人生について多くのことを学び修行したという。

卒業後、株ハイデオという輸入会社に入社したが、その寺から出勤していたというのが不思議な話だ。一年で退社し福島に帰りアグリテクノで仕事をすることになった。この会社、今年創業五十周年になったという。

社長の祖父が最初、精米・製麺業を行いひよこも農家に販売していたという。

父の三品重治氏がハイブリットの種鶏を導入した。アメリカで四交代配の種鶏が開発されたが、その優秀な鶏を仕入れた。それが昭和三十九年で「青い目のトリが来た」と言われた。普通、八十円のひよこだがアメリカからのひよこは三百円もした。えさは少なくて済み、立派な卵を沢山産む。アグリテクノはそこから近代養鶏が始まった。全国で二十軒ほどが近代養鶏を始めたが、そこには官僚の所秀雄氏の功績によるものが多く、業界の父と言われているそうだ。

父が結核におかされたので、清重氏が三十歳で経営を任された。そこから一気に近代化の道を進み始めた。八階建のビルに鶏を入れ卵を産ます。糞は即座に処理され乾燥し発酵させ、完全発酵有機肥料として販売する。いつもきれいな空気が流れ、匂いも無い。一日、七十万個の卵が生産され、本社工場に運ばれると人間の手には一切触れず消毒され品質

の区分けがされ梱包され製品となりスーパーその他に配送されて行く。検査で撥ねられた卵は無駄にせず、食品加工業へ展開していく。茶碗蒸しを始め、杏仁豆腐、フルーツジュース、プリン、その他に加工され販売に結びつけている。鶏卵は「伊達男たまご」という独特のネーミングでビタミネEが普通の卵の四倍という特徴がある。

「どうして遊ぶか、ということをもっとも考えていると、先程おっしゃいましたが、会社の経営はどうするんですか」

「ですから、経理は元銀行員にまかせ、その他のことは人材育成に全力を傾け、私がいつ遊びに出掛けても大丈夫なように社員を信じ任せているんです」

この社長のスケールの大きさに、煙に巻かれて帰ってきた。



【9月のこよみ】
「今月は...?」

おとぎ話

九月に入って、夏の暑さもすこし和らいだ感じがしますが、皆様には如何お過ごしでしょうか。涼しくなりますと「食がすすんで」、体重や糖分、塩分の摂り過ぎも気になります。一時的に「スローフード」という言葉がはやりましたが、今は、落ち着いたようです。スローフードとは、その土地の伝統的な食文化や食材を見直す運動、または、その食品自体をさす言葉。日本の伝統的な和食や郷土料理への回帰とは限らず、「地産地消」と同義ではない(フリー百科事典「ウィキペディア」による)。また、ファストフードの対極的概念でもない。その理念は、①守るー消えていくおそれのある伝統的な食材や料理、質の良い、酒類等。②支えるー質の良い素材を提供する小規模生産者を支える。③教えるー子供たちを含め、消費者に味の教育を勧める。スローフードの意味することは、現代の豊かな食環境の中で一度立ち止まり、生活と食を見直し、健康的な生活に戻すことではないでしょうか?

日本人の成人一日当たりの塩分摂取量は、二〇〇一年の二二・一gから〇八年には、十・九gと減少しているが、世界は、一日六gをめざしており、日本における改定目標値は、男性九g、女性七・五gであり、塩分摂取量は、まだ、多いようです。一日六gまで減塩すれば、血圧も正比例して下がるようです。摂取量を減らし、血圧を下げ、投薬なしで元気で長生きしましょう。(岩見記)